

防災の絆・石川

No.17 <26.8.20> 発行責任者

日本防災士会石川県支部

支部長 土田 滉

事務局長 福谷 正信

メールアドレス sp4t33n9@friend.ocn.ne.jp

第1回防災士スキルアップ研修会でHUG学ぶ

5/31（土）能登空港会議室に120名集結

10/19（日）白山市で第2回研修会を開催、参加者募集中

石川県の後援を得て、本年度第1回「防災士スキルアップ研修会」を輪島市の能登空港会議室において開催。今回、奥能登地域をクリアーすることで、県内一円を網羅した。

研修では、防災士会本部のHUG研修（避難所開設運営ゲーム）を受講した大月真由美副支部長、会員の藤田武則氏、南川正樹氏、松田陽氏が講師を努め、ゲーム感覚で避難所へ次々と訪れる被災者の配置などをグループで話し合いながら問題解決に当たった。

今回の研修には市濱等理事が中心となって、輪島市・珠洲市・能登町・穴水町にも参加を募ったところ、総勢120名が参加。広い会議室は活気に満ち溢れた。

第2回目は10月19日（日）午前9時から正午まで、白山市役所に隣接の市民交流センターで第1回と同内容のHUG研修を行うことにしている。この研修会への参加希望者は同封の葉書で9月18日（木）までにお申し込みください。



自衛隊体験入隊で災害派遣活動を勉強しませんか？

10月26日（日）陸上自衛隊金沢駐屯地で開催

防災士会では、昨年11月の北信越支部連絡協議会設立総会の基調講演で陸上自衛隊金沢駐屯地の福山達也業務隊長（二等陸佐）から、自衛隊が大規模災害で支援活動に入る際に現地の防災士がどう関わっていけばよいかについて講演をいただいたのを契機に、今年度は自衛隊の規律から実際に使っている装備品

を基にして災害支援活動について講義を受講し、発災時の防災士の行動を学ぶために次のとおり計画しました。

受講生の定員は100名です。自衛隊への参加者名簿提出期限等の制約がありますので、参加希望の会員は、同封の葉書で9月18日（木）までに申し込んでください。会員多数の参加を希望します。

日時：平成26年10月26日（日）午前8時30分受付、午前9時から午後5時終了予定

場所：陸上自衛隊金沢駐屯地（金沢市野田町）

内容：基本教練・講話・装備品展示・資料館研修など（詳細は会場にてお知らせします。）

昼食は駐屯地内で隊員食を体験します。

駐屯地へ入隊の際、本人確認のため「防災士証」を持参ください。

駐屯地内の駐車場に限りがありますのでできるだけ車の相乗りでお越し下さい。

金沢マラソンボランティアセンターの登録者募集

11/8・11/9金沢城下町市民マラソンのお伝いに参加しませんか

防災士会では、防災士のPRを図るため、金沢市が募集している「金沢マラソンボランティアセンター」に団体で登録しています。

今年秋の「金沢城下町市民マラソン」は、11月8日（土）に前日受付、翌9日（日）本番として、金沢市の中央公園出発で開催されます。今年の大会は、2015年11月に「フルマラソン」で行われる金沢マラソンのプレ大会と位置づけられており、多くのボランティアが必要となっています。

のことから、防災士会では、防災士の存在感をアップするために、現在の登録者32名を50名程度まで拡大する計画で登録者を募集しています。

金沢市内又は近郊にお住まいの方で、登録及び11/8・11/9の金沢城下町市民マラソンにボランティアとして参加希望の方は同封の葉書で事務局までご連絡ください。

石川県防災総合訓練が11月16日（日）珠洲市で開催

防災士会は家具固定の実演・非常用持ち出し袋展示

昨年、白山市で開催された石川県防災総合訓練に防災士会が初めて参加しましたが、今年は2回目の参加となります。

11月16日（日）午前8時30分から午前12時30分まで珠洲市の正院小学校と蛸島漁港で開催されます。

防災士会では地震の際に家具が転倒して下敷きになることを防ぐための家具固定の実演指導をするほか会員が日頃から備えている非常袋の中身を展示して訪れる地域の方に日頃の備えについて啓発活動を行う予定にしています。

（会員の中で非常持ち出し袋を展示しても良い方は事前に事務局まで申し出てください。）

**お手伝いに必要な人数は20名程度です。できるだけ奥能登地域の会員にお願いしたいと思っています。
お手伝いできる方は、同封の葉書で事務局まで連絡ください。**

見学にこられる方も能登地域を中心に会員多数の参加をお願いします。

北信越支部連絡協議会が講師養成講座・併せて役員会も開催

北信越支部連絡協議会では6月14日（土）午後1時から金沢市松ヶ枝福祉館に北信越4県から会員86名が集まり、「防災啓発活動指導者養成講座」を開催した。

今後、地域や学校で防災講演会等を行うときの講師を養成するために開いたもので、防災士会本部の橋本茂事務統括から「身近な防災対策」について、小杉邦夫富山県支部長は「自主防災会の活動について」、別府茂本部総務委員長（新潟県）は、「避難所と食」、大月真由美石川県副支部長は「被災地の生活・福祉・医療」についてそれぞれ講義があつた。

受講生には、今後地域や学校での防災啓発活動の講師として期待が高まっています。

また、午前中には北信越支部連絡協議会の役員会も開催され、来年の総会は福井（4月～6月）で開催することや石川県から提案した①自衛隊への体験入隊②原子力防災研修についても北信越支部連絡協議会として計画すること等を決定しました。



↑北信越役員会に出席された皆さん

6月27日（金）連絡体制図のテスト通信実施

6月27日（金）午前中に、加賀・金沢南部・金沢中央部・金沢北部・能登のブロックごとに福谷正信事務局長から「〇〇川が決壊・氾濫しましたのでお知らせします」との内容で、災害発生時の会員への連絡がスムーズに伝達するかどうかのテスト通信を行いました。

最後の方まで連絡内容が届き、事務局長まで返信されたのが14箇所中3箇所のみであり、①次の連絡を誰にするのかわからない人②勤務中だから連絡できない③忙しいので連絡は無理④一日中待っていたが連絡なかった等混乱してしまいました。

災害発生時の緊急連絡がこのような状態では組織が機能しません。9月14日（日）の役員会の中で反省事項・改善案を検討していきます。

7月15日県民一斉防災訓練にご協力ありがとうございました

石川県危機対策課が実施した県民一斉防災訓練（シェイクアウトいしかわ）は、7月15日午前11時にそれぞれの場所で「しゃかむ」「隠れる」「じっとする」といった「安全行動」を1分間行い、防災士会も参加しました。

会員の皆様には、メールで事前にお知らせしましたが、それぞれの場所でのご協力ありがとうございました。

釜石の奇跡に学ぶ、片田敏孝教授の講話を聴きませんか！

10/19 防災講演会への参加者募ります

10月19日（日）午後1時から午後3時30分まで、ANAクラウンプラザホテル（金沢市昭和町16-3）で防災講演会が開催されます。

講演されるのは群馬大学教授の片田敏孝氏で「想定外の災害にどう備えるか」と題して、東日本大震災で有名な津波避難の「釜石の奇跡」などについて、日頃からの避難訓練の大切さを雄弁に語られます。

主催は建設コンサルタント協会北陸支部で、7/22 協会の瀧上氏と新川氏が事務局を訪れ、防災士会の会員の皆様には是非講演をお聞き願いたい旨要請がありました。

受講を希望される方は同封のチラシ裏面の参加申込書に記入の上、FAXで直接協会へ申し込んでください。（定員300名、9月25日参加申込締切、先着順）

当日は、防災士会のスキルアップ研修会が白山市で開催されていますので、HUG研修会終了後直ちに金沢へ移動することになります。片田教授の講演は午後1時20分頃始まる手はずになっています。

同協会では、防災士会石川県支部会員の皆様に30名程度の参加を予定されています。

今後の行事予定

- 26. 8.31 (日) 午前9:00~12:00 金沢市民防災訓練（崎浦・花園校下）
- 26. 9.14 (日) 午後1:30~16:00 防災士会役員会 金沢市松ヶ枝福祉館4F 学習室
- 26. 9.14 (日) 午前9:00~12:00 金沢市民防災訓練（長坂台校下）
- 26. 9.27 (土) ~28 (日) 石川県主催原子力防災訓練
- 26.10.19 (日) 午前9:00~12:00 防災士スキルアップ研修会 白山市民交流センター
- 26.10.19 (日) 全国支部長会議（東京）
- 26.10.19 (日) 午後1:00~ 防災講演会（群馬大学片田教授）
- 26.10.26 (日) 午前8:30~17:00 陸上自衛隊金沢駐屯地体験入隊研修
- 26.11.08 (土) 金沢城下町市民マラソン前日受付
- 26.11.09 (日) 金沢城下町市民マラソン
- 26.11.16 (日) 石川県防災総合訓練 珠洲市正院小学校
- 26.11.22 (土) 防災士会石川県支部忘年会（金沢市）予定
- 26.11.29 (土) 石川県自主防災会交流会

注：____は防災士会石川県支部が直接関わる行事です。

26.9.13 (土) に計画していました「放射線に関する正しい知識と原子力防災研修会」（志賀原発）は都合により延期となりました。日程が決まり次第お知らせします。

2014年(平成26年)6月15日(日曜日)

【金沢】 14

災害強い北信越へ 4県防災士が研修 住民への教授法など学ぶ

北信越の防災士でつくる「日本防災士会北信越支部連絡協議会」は十四日、金沢市高岡町のスクリュアップ研修会（東京）事務統括の橋本茂は、金沢市高岡町で開催。代表者四人がパワーポイントなどを使い、普段行っている講習を実演した。どのデータを使い、何を住民に伝えるのが効果的なのかを論じた。



防災講習のスキル向上を目指す研修会=金沢市高岡町

さんは「身近な防災対策」と題し、地震発生のメカニズムや石川県内で過去にあった災害例、防災対策の必要性を紹介。今年、地震発生確率が引き上げられた森本・富樫断層帯について触れ、「金沢でも大震災が起こる可能性がある」と知つてもう必要がある」と力を込めた。

昨年十一月に協議会を設立して以来、初の研修会。土田満会長は「発災したとき、北信越の人たちが同じレベルで活動できるように底上げしたい」と話した。（兼村優希）

北國新聞

(31) 地方社会 2014年(平成26年)6月15日(日曜日)

北信越の防災へ 指導者養成講座

金沢で日本防災士会

災害への備えや防災士の役割などを講義した。

日本防災士会北信越支部連絡協議会の「防災啓発活動指導者養成講座」は14日、金沢市松ヶ枝福祉館で開かれ、北陸三県と新潟県の会員約90人が地域防災への意識を高めた。

同協議会は昨年11月、広域防災と連携を目的に結成された。初研修となる今回は、日本防災士会本部の橋本茂事務統括と別府茂総務委員長、小杉邦夫富山県支部長、大月真由美石川県支部副支部長が講師を務め、

大規模災害に 備え対応確認

能登空港で防災士会

日本防災士会東支部の第1回防災士スキルアップ研修会は31日、能登空港ターミナルビルで開かれ、奥能登2市2町の防災士約150人が模擬訓練を通して、災害時の対応力を高めた。

参加者は15班に分かれ、大規模災害が起きたと想定し、模擬の避難所運営委員会を設置。カードに書かれた課題を話し合い、食料の配給方法やけが人の運び場所などを決めた。大月真由美副支部長らが助言した。研修会は金沢市などで年2回開催しているが、地域住民の強い要望を受け、奥

2014年(平成26年)5月29日(木曜日)

市民の意識高揚へ連携

白山市防災士会が発足

白山市防災士会設立総会が二十七日夜、市民交流センターアーであつた。市内在住の防災士百八十九人

(四月末現在)のうち八十七人の有志が加入。地域防災力アップのため、横の連携を図る。(松本芳孝)

総会では会則の承認

後、役員を選出し、初代会長に南永一さん(漆地区)を選んだ。

南さんは「防災とは人の生命、財産を守ること。

一般の方の防災意識は決して高くない。

防災士が地域に入り、活動していくことが防災意識高揚につながる」とあいさつした。

本年度事業計画では、今後の活動につなげるため、会員の得意分野を調べることや、

七月に万一の際の判断力を養う災害連想ゲームや避難所運営ゲームなど図上訓練講習の実

施、秋に市内での避難所運営訓練、白山野々市広域消防本部の協力でロープワーク講習や普通救命講習などを実施することも決めた。

市は町内会と同数の三百八十五人の防災士育成を目指しており、会も協力する。作野広昭市長は「皆さんのが協力やすい環境を整えるのが市の役割」と会の活動に期待した。

総会終了後、北陸学院大の田中純一准教授

会長就任のあいさつをする南永一さん(右端)と白山市民交流センターで

(社会学)が「地域に期待される防災士の役

△会長を除く新役員の皆さん(かつこ内は地区名)
副会長 高本謙一(一
木浦村実 (石川) 大月真由美(館畠)
厚(千代野) ▽監事 上田
武夫(旭) 清尾
▽顧問 藤田武則
辻義一(吉野)
谷▽顧問 上田

割」をテーマに講演した。



平成26年8月20日

防災士各位

日本防災士会石川県支部
支部長 土田 満

陸上自衛隊「一日体験研修会」の開催について（ご案内）

1 目 的

陸上自衛隊の部隊行動の基礎を体験研修するとともに、各種災害派遣活動の概要と現地での防災士を中心とした自主防災組織との協働要領等について研修を行い、今後の自主防災活動の向上に資する。

2 時 期

10月26日（日）9：00～17：00

3 場 所

陸上自衛隊金沢駐屯地（金沢市野田町1－8）

4 研修内容

(1) 基本教練

(2) 講 話

自衛隊の災害派遣活動と自主防災組織との協働要領等について

(3) 装備品展示

炊事車・人命救助セット等

(4) 駐屯地資料館研修

5 移動及び駐屯地への入門等

(1) 移 動

ア 移動要領

各人計画（駐屯地内駐車スペースに制限があり、できる限り乗り合わせでお願いします。）

イ 駐屯地への入門

○ 車両入門：駐屯地駐車許可証を配布（各人は防災士証を提示）

○ 徒歩入門：防災士証を提示

(2) 受付

8:00~8:50 : 正門付近

6 飯食

陸上自衛隊金沢駐屯地に有料申し込み

(会費で負担することとし、個人徴収はしない)

7 服装・携行品

(1) 服装

防災服(体操服上下でも可)・ズック、帽子着用を基準

(2) 携行品

防災士証、筆記具等

「駐屯地内車両駐車許可証」は当日正門付近で、車両毎に配布